

心豊かで元氣あふれる村づくり

輝かしい新春を迎え、謹んで新春のお慶び申し上げます。

昨年は、2月24日ロシア軍によるウクライナ侵攻が開始され、ウクライナ国内各地で激しい戦闘が繰り広げられ、多数の民間人が犠牲となる言葉に言い表せない事態が起こってしまいました。ロシアのこの行為により、穀物やエネルギー資源が高騰となり、社会経済のみならず、普段の生活に對しても大きな影響を及ぼしている状況であります。

未だに収束の兆しが見えてこない新型コロナウイルス感染症につきましては、9月以降感染者数の減少傾向が見られ、各地区において各種イベント等の再開が見受けられたものの11月に入り、再び感染者数が増加に転じ、県は11月17日に県内の感染状況が第8波に入った認識を示しました。なお、村では引き続き村民の皆様へ安全安心を確保するため、ワクチン接種の促進と基本的な感染防止対策の徹底を図ってまいります。

また、毎年様々なドラマを生む「市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」は、今年で34回目を迎えました。村の部連覇を目指して当日に臨みましたが、力及ばず村の部4位、総合で23位という結果に終わりました。

ります。本年も、どうか監督を中心に関係者一丸となつて「村の部優勝」奪還を目指してくださいませよう、ご期待申し上げます。今年、村づくりの最上位計画となる「第6次総合振興計画」の策定に向け、



村長 箭内憲勝

Norikatsu Yannai

しかし、持てる力を十二分に出し切り、「最後まで諦めない精神」は健在で、選手の走りは村民に勇気と感動を与えました。こうした頑張り、これからの村づくりの原動力になるものと確信しているところであ

村づくり委員会を立ち上げ、村の将来を見据えた様々な議論を行っており、公約に掲げました駅東側の土地利用等についても検討をいただき、村の玄関口にふさわしい駅周辺整備計画を策定したいと考えており

ます。また、児童・生徒の食の安全と安心を確保するため、給食センターの建て替えの検討も行ってまいります。本年も、人口減少・少子高齢化対策を最重要課題との観点から経済支援対策、雇用対策、住宅対策、教育対策に加え、医療福祉対策等について、積極的に取り組んでまいります。特に経済支援については、物価高騰に対する国・県の支援策等の情報を的確に捉え、事業に繋げてまいりたいと思っております。

さて、今年の干支は「葵卯（みずのとう）」です。干支は十干と十二支の組み合わせで60通りあるため、干支は60周期で循環します。次に卯年になるのは12年後の2035年ですが、次に「葵卯（みずのとう）」になるのは、60年後の2083年になります。「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから、「冬の門が開き、飛び出る」という意味があると言われて

います。また、「卯」は穏やかな兔の様子から安全、温和、兔のように跳ね上がるという意味があり、卯年とは何かを開始するのに縁起が良く、希望が溢れ、景気の回復や好転する良い年になると言われています。また、卯にちなんだ熟語に「鳶目兔耳（えんもくとじ）」という言葉があります。これは、鳶の目は遠くのことまで目ざとく見つけ、兔の耳は些細な音も聞き漏らさないという意味で、そんな耳と目を持った情報収集能力の高い人を指すそうです。コロナ禍以降、停滞が続いていた世の中に、そろそろ希望が芽吹く春が望まれています。高い情報収集能力を身に付け、国・県の動きを的確に捉え、村政に反映できるよう心掛けてまいります。

私たちも気持ち新たに職員と一丸となつて、明るく住みよい「心豊かで元氣あふれる村づくり」を着実に目指してまいります。村民の皆様のご繁栄とご健勝を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

令和5年の年頭にあたり、村民の皆様方に議会を代表して心からお慶びを申し上げます。

また、日頃から当議会に対し、温かいご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

令和4年を振り返りますと私たちの生活を脅かすものとして、未だに終息の見えない新型コロナウイルス感染症と新たに起きたロシアのウクライナ侵攻による様々な影響に尽きると思われます。泉崎村におきましても、7月までは感染者が一桁台だったものが、行動制限が緩和され、旅行割等の国の経済対策の影響もあつてか、急激に感染力のより強いB A 5という変異株に置き換わり、まん延し始め、第7波、第8波といった感染増加の波が押し寄せ

てきたことは皆様の記憶にも残っていることと思えます。

近年相次ぐ災害も念頭におかなければなりません。昨年3月に起きた震度5強



鈴木清美 議会議長

Kiyomi Suzuki

の福島県沖地震では、多くの家屋に損壊を与えました。これは2年連続となり被害を受けた皆様にはこの場をお借りして改めてお見舞いを申し上げます。

行政に目を転じますと、コロナワクチン接種を4回実施し、オミクロン株対応ワクチン接種も行われ、これまでの予防対策も継続していること、ロシアのウク

ライナ侵攻がもたらす原油や穀物の高騰、さらにはこれらが要因となって電気料金から日常生活用品までもが物価高騰となっていることから、住民税非課税世帯

への給付金、子育て世帯への給付金、農家への給付金、一般家庭への水道基本料金免除など一定の対策を行っています。議会としては、速やかな各種給付を行ったこと等から一定の評価をしたいと思いますが、次から次に新たな問題が出てくる現在の状況では、これに留まることなく、更なる支援対策に期待するところであります。

ところで、今年はずきぎ年です。うさぎは跳ねることから「飛躍」「向上」の年として景気上向き、回復の年と企業等からは歓迎される年だそうです。また、うさぎは温厚なことから「家内安全」子どもをたくさん産むことから「繁栄」など古来より様々な角度からみて良い年と言われています。

今、世界中が混乱に向かっている中で、私たちが

住む泉崎村が安心して暮らせる場所であると思えるように、議員一同身を粉として皆様の声を聴き、行政に働きかける取り組みを誓うとともに、行政に対して常に物申す機関としての役割を果たすことで皆様の幸福に一役買えるようしっかりと活動していきたいと考えています。

今年1年皆様におかれましても輝かしい年でありますようご祈念申し上げます、新年のあいさつに代えさせていただきます。

豊かな教育の実現のために

村民の皆さんに、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。輝かしい新年を迎え、穏やかに過ごしのこと思ひます。今年1年が皆さまにとって素晴らしい年となることを祈念いたします。

令和4年も新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でしたが、数年前と異なり、国際社会は、様々な対策を通じてウイルスの特性を理解し、ワクチンの開発を実現しました。一方で、少子化、環境保全、格差社会の言葉が示す様々な課題が発生し、世界的な規模で解決を迫られる時代の到来を感じています。

村教育委員会では、令和2年度から教育振興計画の「人生二〇〇年時代を生きた子どもの教育」に「地域で育む」「夢を実現する」「生涯を生き生き」の3つの理念を掲げました。4年目を迎える令和5年度は、お示しした施策を確実に実行し、成果を明らかにする期間です。以下、今後の取り組み

についてご紹介をいたします。

はじめに、誰もが夢を持ち、実現するために必要な力を育むことです。子どもたちは、家庭を中心と

が、より効果的な事業の在り方を検討、実践します。子どもたちのみならず、誰でもICT機器等の活用力を身につけられる環境の整備を進めるために、生涯学



鈴木一正 教育長

Kazumasa Suzuki

し、地域や学校教育を通して、夢の実現に必要な力をつける必要があります。これまで各種学習会、土曜教室、各種コンテスト、職員配置等進めてまいりました

習の拠点となる公民館での事業を効果的に企画運営し、充実させます。次に、SDGsに示される持続可能な社会の共通目標を実現するためには、国

際社会で人と人との交流を通じて互いを理解し、協力する必要があるとします。コミュニケーション力の育成、自分の考えを分かりやすく相手に伝えること、根気強く最後まで取り組む力強さを育む環境の整備を進めます。

そのために、学校教育を中心に地域、企業、関係機関の皆さんの専門性を学校教育の場面で発揮していただく機会を設け、充実させる

予定です。現在、小・中学校に設置している学校運営協議会の拡大と活性化を図ることも緊急課題です。令和4年度よりスタートした

中学生の子ども議会への参加は、現実にある課題について大人と子どもが共に学び、新たな主権者としての意識を育む好機となります。

次に、すべての年齢の皆さんが活躍できる環境を整えることです。先の村文化祭では、幅広い年代の方々が時間をかけて作品制作に取り組み、技能を高められた作品を出品されました。

いくつになっても自分で技術や能力を高められるという証でもあります。文化やスポーツを中心とした健康づくりと新たなスポーツに取り組み方もいっしょに

します。多くの年代の皆さんが交流を図りながら多様な運動と文化活動ができる環境の整備にも取り組んでい

かなければなりません。

次に、誰もが社会の担い手となるための環境が必要です。一人ひとりの個性や学びのスタイルを生かし、個に応じた支援を進めます。

学習や集団での活動になじめない状況や特性に応じた支援の在り方を検討整備したいと思ひます。そのためには、保健、福祉、医療機

関と連携を進め、同時にご家庭における子育てを適切に支援ができるような仕組みづくりに努めます。

新たな1年を創造性豊かな「村民お一人お一人の手作りによる泉崎村ならではの教育」を推進する年に

してまいりたいと思ひます。ご理解とご協力をお願いいたします。